

「持続可能なまちづくり」を目指して

将来を見据えたまちづくりと住民のウェルビーイングの向上に取り組みます

3月定例議会で門司町長が令和6年度の施政方針を発表しました。施政方針には、1年をかけてどのような取り組みを行うのか、まちづくりの方向性が示されています。今回は、その概要と令和6年度予算を紹介します。



岡垣町長 門司 晋

問い合わせ 総務課

はじめに

【能登半島地震】

本年元日に発生しました能登半島地震により、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に、心からお見舞いを申し上げます。

被災地域の皆さまが一日でも早く日常生活を取り戻せるように、町は、備蓄用飲料水の提供や義援金の受け付け、災害時相互応援協定を締結している石川県津幡町や福岡県町村会を通じた石川県穴水町への職員派遣などの支援を行っています。

大規模災害はいつでも、どこで

も起こりうるものです。災害が発生した際は、個人の判断で命を守る行動をとる「自助」が最も重要となるため、まずは総合防災マップの活用について周知を徹底し、皆さまに自分が住む地域の災害リスクを把握していただきたいと考えています。あわせて、町は、一人一人が適切な避難行動を取ることができるように、地域を指定した避難情報の発令などの対策を進めます。

【コロナ禍からの転換と物価高騰対策】

昨年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類へ移行したこともあり、日本経済や私たちの日常生活は、緩や

かに回復に向かっていると考えています。今後は、コロナ禍で顕在化した課題などを踏まえ、ポストコロナの時代に対応した施策を着実に進めます。

また、依然として続いている物価高騰に対し、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した住民の生活支援や事業者への支援に取り組みとともに、低所得者支援および定額減税を補足する給付について、円滑かつ迅速に対応します。

【国道3号岡垣バイパス4車線開通】

本年2月3日に念願であった国道3号岡垣バイパスが4車線になり全線開通しました。このバイパスの整備は半世紀の歴史があり、改めて、その重みを感じました。

特集 令和6年度 施政方針・当初予算

【平和への取り組み】
ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエルとイスラム組織ハマスの戦闘により多くの尊い人命が奪われている現実に、心が痛むと同時に強い憤りを感じています。本町は1986年に「核兵器廃絶平和の町」を宣言しました。平和への取り組みとして、地道な啓発活動が重要であると考えており、今後も継続して平和事業を実施することで、次代を担う子どもたちに核兵器と戦争の悲惨さを伝え、命の尊さや平和の大切さについて考える機会を設けます。



現在整備が進んでいる県道原・海老津線バイパスと県道岡垣・宗像線バイパスが完成すれば、周辺道路の交通の円滑化や国道3号へのアクセスの向上などの効果が期待されます。引き続き、県に早期完成に向けた働きかけを行うとともに、事業の促進を図るため、県や国と連携して対応します。



まちづくりの基本姿勢

これまでも変わることのなかった基本理念「自然との共生」を軸に、第6次総合計画に掲げるまちの将来像「自然と共生するしあわせ実感都市 岡垣」の実現に向けたまちづくりを継続して進めます。

【避けては通れない人口減少】

今後のまちづくりでは、まず日本の人口が減少していくことをしっかりと認識しておく必要があります。令和5年12月に公表された国立社会保障・人口問題研究所の推計では、日本の人口は2050年には1億400万人余りになり、東京都を除いた全ての道府県で2020年より人口が減少することが見込まれています。本町でも、2050年には人口が2万5千人まで減少すると推計されています。今後も対策を講じていくものの、人口減少は避けては通れないため、このことを踏まえた持続可能なまちづくりを進めることが重要であると考えています。

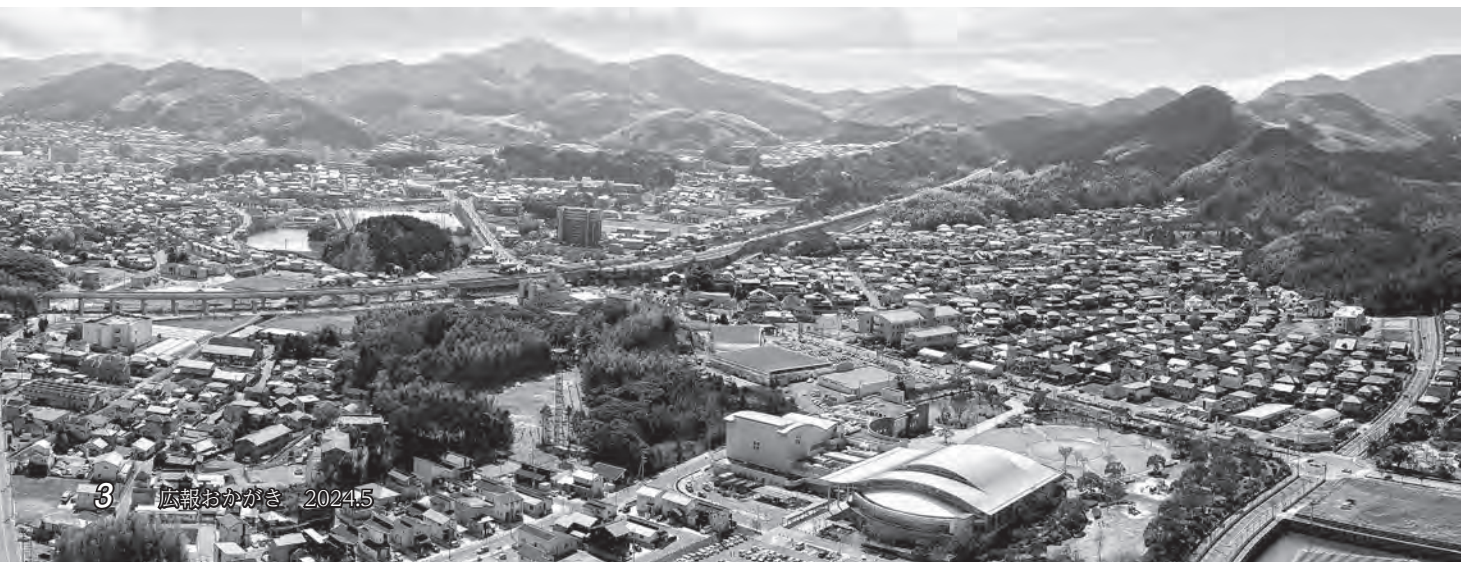
【持続可能なまちづくり】

40年、50年先の将来を見据えたまちづくりのため、現在、JR海老津駅前周辺の整備事業や学校施設の適正配置の検討、公共施設等総合管理計画の推進、屋内スイミング施設の誘致などを進めています。

す。今後も中西部地域の観光振興や岡垣サンリーアイの充実、町内の道路網整備など、将来を見据えた事業に取り組みます。

一方で、今、岡垣町で暮らしている住民一人一人が、身体的にも精神的にも社会的にも満たされ、充実した幸せな生活を送ることができる、いわゆる「ウェルビーイング」の向上を目指しています。特に子育て環境の充実に重点を置き、住民満足度を高める取り組みを進めていきます。

この二点を並行して進めることが「持続可能なまちづくり」につながると考え、令和6年度も、その実現に向けた取り組みを進めます。



一般会計予算は122億9300万円

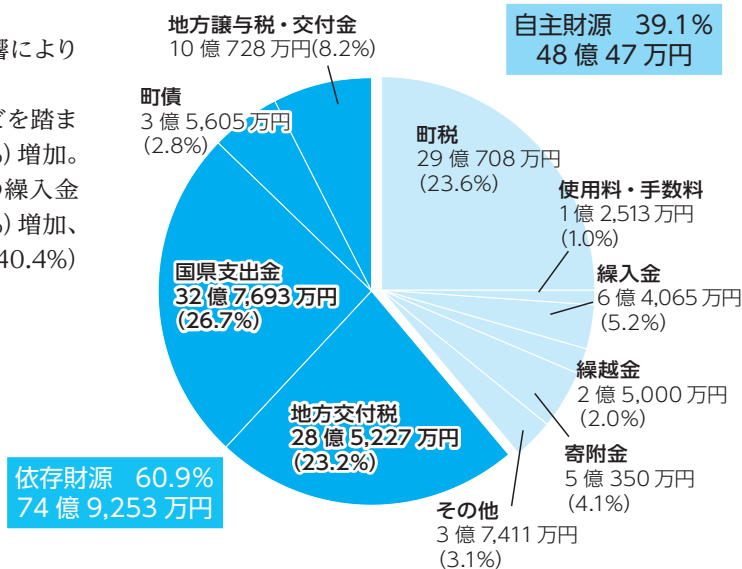
歳入

【前年度からの主な増減】

町税 国の定額減税の影響により6,819万円(2.3%)減少。

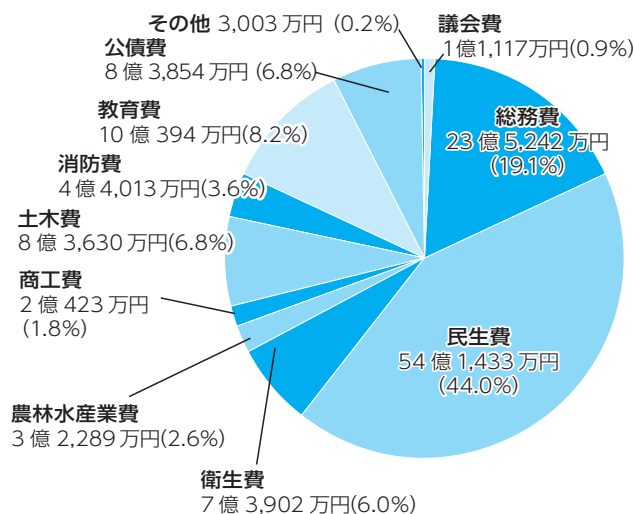
地方交付税 国の計画などを踏まえ、1億2,017万円(4.4%)増加。

繰入金・町債 基金からの繰入金は2億5,023万円(64.1%)増加、町債は2億4,156万円(40.4%)減少。



前年度予算から
4億9,200万円(4.2%)増加

歳出



【前年度からの主な増減】

総務費 物価高騰対策事業などにより3億2,022万円(15.8%)増加。

民生費 社会保障費の増加や認可保育所の施設整備への支援などにより4億210万円(8.0%)増加。

教育費 中学校の大規模改修工事の完了などにより2億4,110万円(19.4%)減少。

その他の会計

会計名	予算額
国民健康保険事業	32億7,709万円
後期高齢者医療	6億9,523万円

会計名	予算額	
水道事業	収益的収入	6億2,466万円
	収益的支出	6億404万円
	資本的収入	2億4,016万円
	資本的支出	4億9,541万円
下水道事業	収益的収入	8億9,952万円
	収益的支出	9億425万円
	資本的収入	2億6,130万円
	資本的支出	5億2,404万円

まちの将来像

「自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣」

令和6年度の主な取り組みについて、新たな施策や重点的に取り組む施策を紹介します。

1 自然を守り、活かし交流を生むまち

町のシンボルである美しい海岸や森林などの自然を守るため、町と住民が連携した環境保全活動などを推進するとともに、住民が暮らしやすい環境を整えます。

■三里松原の保全活動への支援	420万円
■森林環境譲与税などを活用した森林の整備	985万円
■環境啓発・人材育成事業	171万円
■ゴミステーション購入補助やカラスよけネットの支給	320万円
■太陽光発電設備の導入などの地球温暖化防止対策	992万円など



2 地域資源を活かし発展するまち

農業、漁業、商工業など地場産業の経営を支援します。また、ツール・ド・九州2024福岡ステージでは、観光協会や地域事業者と連携して、町の魅力発信やサイクルツーリズムを推進します。

■ため池、水路などの農業用施設の維持管理	4,120万円
■緩衝林の整備などの有害鳥獣対策	2,140万円
■リモコン式草刈り機の導入	563万円
■漁業の振興	1,831万円
■商工会への支援	1,472万円
■観光の推進	5,744万円など



3 | 人・つながりが育つまち

ライフステージにわたる子育て支援策を計画的に実施して、子育て環境の向上を図ります。また、教育環境の充実のため、学校施設の適正な規模や配置について検証します。

■子育て応援パッケージ（新たに実施・拡充する取り組み）

- 保育料軽減額の拡充—————1,289万円
国基準から軽減を行っている保育料について、軽減率を現行の平均約11%から平均約20%に拡大します。
- 子ども医療費自己負担額の軽減—————409万円
令和6年10月診療分から子ども医療費等の通院にかかる自己負担額を1医療機関当たり月1,200円から月500円に変更します。
- 中学校給食費の補助—————2,522万円
保護者が負担している学校給食費の半額を補助します。
- 児童生徒等の相談・支援体制の強化—————100万円
各学校のスクールカウンセラー（臨床心理士）の配置時間を拡大します。
- 学校図書室開放時間の延長—————168万円
モデル校として海老津小学校で、放課後の図書室の開放を試験導入します。
- 認可保育所の新設—————2億624万円
令和7年4月からの認可保育所（定員100名）の開設に向けた支援を行います。

など

- 学校施設適正配置の検討—————793万円
 - 保育サービスの提供—————9億3,491万円
 - 学童保育所の運営—————6,604万円
 - 子ども未来館の運営—————3,313万円
 - 小中学校へのICT支援員の配置—————1,414万円
 - 英語教育の充実—————1,531万円
 - 岡垣サンリーアイの運営—————2億9,929万円
- など



4 誰もが元気で自分らしく暮らせるまち

地域で支えあう仕組みづくりなど、地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めます。また、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で自立した生活を送れるように、重症化予防と介護予防に一体的に取り組めます。

■健康づくりの推進	3,681万円
■高齢者福祉の推進	9,285万円
■障がい福祉事業	12億4,451万円
■介護保険事業	7億1,999万円 など

5 安全・快適に暮らせる持続可能なまち

道路の補修や更新を行い、安全性を確保するとともに、新たな地域幹線道路の必要性などを検討します。住民の安全安心な暮らしを守るため、防災・防犯対策を推進するとともに、安全対策として、小中学校などの屋外に AED を設置します。



■道路橋りょうの補修や更新	1億6,643万円
■JR海老津駅前周辺の整備事業	2億3,364万円
■コミュニティバス・乗合タクシーの運行など	1億919万円
■自主防災組織への支援などの災害対策	956万円
■防犯灯の設置やLED化など	2,280万円
■防犯カメラの設置補助や青パトなどの防犯対策	534万円
■小中学校などの屋外へのAEDの設置	456万円 など

令和6年度当初予算

詳しい内容は
 コチラ

当初予算の詳しい内容は町公式ホームページから確認できます。



6 計画推進の基盤

■コミュニティ活動への支援	3,250万円
■ボランティアセンターの運営	901万円
■公民館講座の実施	638万円
■自治公民館活動への支援	594万円
■ブランド戦略などの町の魅力発信の推進	823万円
■オンライン申請サービス導入などの自治体DXの推進	3,582万円
■おかがき応援寄附金の増加に向けた取り組みの推進	2億4,362万円 など